

2023年度

エコドライブ 推進運動



日常の点検・整備が燃費を良くします

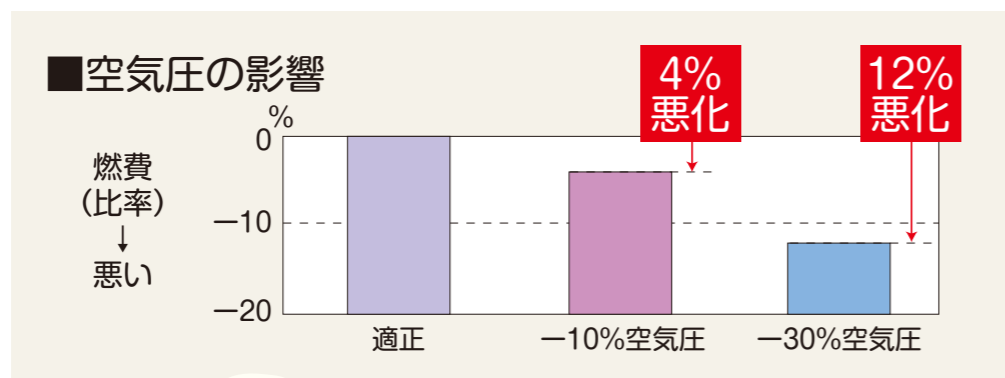
1 エアクリーナーの目詰まりを除きましょう

エアクリーナーが詰まっていると、空気不足になって燃焼が悪化し、燃費が悪くなります。目詰まりインジケーターが点灯したら、エレメントを清掃または交換してください。目詰まり状態で使用すると、燃費が約3%悪化します。

2 エンジンオイルは定期的に交換しましょう

オイルの寿命以上に長く使うとオイルの粘度が固くなり、燃費が1~2%悪化します。それ以上にエンジンの寿命が短くなるので、定期的にオイル交換をしましょう。

3 タイヤの空気は適正な圧力に保持しましょう



アイドリング・ストップの効果

1台の車で10分間アイドリングをストップすると、以下のとおり燃料消費量や二酸化炭素の排出量を減らせます。

車種	削減量	燃料消費量	二酸化炭素排出量 (炭素換算)
乗用車 (ガソリン車)		0.14ℓ	90g
小型トラック (2t積ディーゼル車)		0.08~0.12ℓ	58~87g
中型トラック (4t積ディーゼル車)		0.13~0.17ℓ	94~120g
大型トラック (10t積ディーゼル車)		0.22~0.30ℓ	160~220g

今日も挑戦！エコドライブ。
エコドライブは、安全運転にもつながります。

2023年4月1日(土)~2024年3月31日(日)

一般社団法人 富山県トラック協会
富山県貨物自動車運送適正化事業実施機関

運動の目的

エコドライブ推進運動は

- やさしい運転による環境保護、資源保護、経済的利益の追求
 - おだやかな運転を心掛けることによる安全性の追求
- をすることを目的とする

事業所における推進事項

- エコドライブ推進責任者を指定し、組織的な運動体制を整える。
- アイドリングストップ運動を徹底する。
- 車両の点検・整備を徹底する。
- 適正かつ効果的な運行計画を定める。
- エコドライブの指導を徹底する。
- エコドライブ研修等に積極的に参加する。
- ドライバー、または車両ごとの燃費管理を徹底する。
- 燃費管理結果の検討と、優秀者に対して表彰を実施する。

エコドライブがもたらす効果

◎ 地球温暖化の抑制

エネルギー消費により発生する多量の二酸化炭素で地球温暖化が深刻化している。国内で排出される二酸化炭素総排出量の約2割が運輸部門で、そのうち約9割が自動車から排出されている。

二酸化炭素の排出量を削減するための取り組みとして、排出ガスの少ない自動車を使用するだけでなく、おだやかにアクセル操作をするなど、環境にやさしいエコドライブがある。

エコドライブを実践することで、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の排出も抑制することができる。

◎ 交通事故の防止

エコドライブの基本は、**穏やかな運転に徹すること**である。

すなわち、**急発進、急加速を避ける**だけでなく、**発進・停止回数そのものを抑えるため、先を見越した予知運転**をすることで、これが事故防止、とりわけ追突事故の防止に大きく役立つことがわかっている。

エコドライブにより事故を未然に防止できれば、事故そのものだけでなくその処理にかかる損失や費用の削減にもつながる。

◎ コストの削減

燃料費は、人件費に次いで占める割合の大きな経費である。

エコドライブの徹底により環境対策の貢献だけでなく、コスト削減などの経営上のメリットも期待できる。

エコドライブのポイント

1. 不要なアイドリングをやめよう



- 荷待ち、休憩等でアイドリングしていませんか？
- アイドリングの必要な時は、始動、停止直後の数分だけ。
- アイドリングでの燃料消費量は、1時間当たりおおそエンジンの排気量1/10ℓです。
- 夜間のアイドリング運転は、近所に騒音で迷惑をかけますので止めましょう。

2. 発進・加速はゆっくりと

急加速発進すると燃費の悪い高回転部分を多く使うため燃費が悪くなります。

- エコドライブのポイントはアクセルを踏みすぎない、アクセルの踏み込みは大型車80%ぐらい、中型車50%ぐらい
- シフトアップは回転計のグリーンゾーン内で行う。要はゆっくり加速することです。



※グリーンゾーンとは、エンジン回転計の目盛り部分に示された緑の帯を言い、適正なエンジン回転数の使用範囲を示しています。

3. 空ぶかしはしない



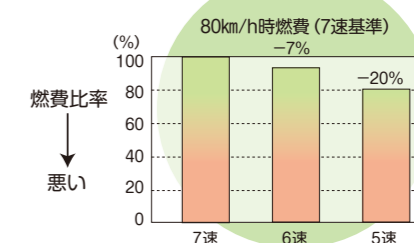
騒音や大気汚染の原因にもなる空ぶかしは、燃費にとっても大敵です。意識的でも長年のクセでつい、などという場合もありますので注意しましょう。

〈大型トラックの空ぶかし〉

大型トラックでは、1回につき約12ccの燃費を余計に消費します。停車中1日20回の空ぶかしを行った場合、年間70ℓもの燃料が無駄になります。

4. 定速運転を心掛ける

- ギヤの選択は適切に（ギヤチェンジは早めに行う）。
- 定速走行で気を付けることは
エンジン回転はグリーンゾーンで運転すること
波状運転をしないこと
の2点です。
- 同じ速度でもできるだけ上のギヤを使って走る。



5. 減速には惰行運転を利用する



- 早めにエンジンブレーキを使って惰行運転で減速しながら、最小限のフットブレーキをかけることが、省エネのコツです。
- リターダーはブレーキが良く効くので、スイッチを入れ放しにすることが多くなりがちですが、この場合ギヤチェンジごとにリターダーが作動しブレーキをかけてしまい、燃費を悪くしますので、スイッチは減速する時に入れて下さい。

6. 高速走行では車速を抑える

- 高速で走るということは、風の抵抗に打ち勝って走ることです。
- たとえば、80km/hの所を120km/hで走ると約120psの力を余計に使うことになります。その分燃費が悪くなるわけです。その結果、車速を10km/hアップすると燃費は、約7~8%悪化します。

